

令和5年度 高体連小樽支部バドミントン選手権大会  
兼第75回北海道高等学校バドミントン選手権大会予選会開催要項

○ 主 催 北海道高等学校体育連盟小樽支部  
小樽地区バドミントン協会

○ 当 番 校 北海道余市紅志高等学校

1 期 日 令和5年5月22日(月)～24日(水)  
日 程 5月22日(月) 9:45 監督会議  
10:30 開会式  
11:00 競技開始 団体戦  
5月23日(火) 10:00 競技開始 団体戦決勝 個人戦複  
5月24日(水) 10:00 競技開始 個人戦単 表彰は随時実施

2 会 場 小樽市総合体育館(小樽市花園5丁目2番2号 TEL 0134-33-3710)

3 競技種目 (1) 学校対抗男女団体戦  
(2) 個人対抗男女個人戦(単・複)

4 競技規則 令和5年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。

5 参加資格 (1) 北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。  
(2) 選手および監督・コーチ・マネージャーは、北海道バドミントン協会登録に会員登録を完了した者。  
(3) 高体連主催大会参加者災害補償制度に加入した者、また加入の意志のある者。  
(4) 年齢は4月2日を起算日として19歳未満とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年の出場は1回までとする。  
(5) 転校後、6ヶ月未満の者は参加できない。但し、一家転住等やむを得ない理由がある場合は、支部長の許可があればこの限りではない。尚、6ヶ月未満の起算は、支部大会開催日とする。  
(6) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する校長が支障ないと判断した者とする。  
(7) 参加資格の特例  
ア 上記(1)に定める生徒以外で、(2)から(6)の大会参加資格を満たした生徒を別途に定める規程(全道高校体育大会参加生徒の指導基準に示された規程)に従い参加を認める。  
イ (4)の但し書きについては学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技3回限りとする。  
ウ 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。  
(8) 団体戦は各校男・女各1チームとする。  
(9) 個人戦は各校男・女それぞれ単3、複3以内とする。

6 引率責任者及び監督

引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長が認めた教職員とする。ただし、監督については種目の特殊性を考慮し、申出により別途審議する。なお、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。

校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。

- 7 チーム編成 (1) 課程(全日制課程、定時制課程、通信制課程)ごとの生徒によるチームであること。  
(2) 団体戦は選手5～8名以内、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名の計11名以内で編成すること。  
(3) 個人戦は選手の他、監督またはコーチ1名とする。  
(4) 登録選手の変更については、団体戦は監督会議まで認めるが、個人戦は一切認めない。なお、選手・監督・コーチ・マネージャーの追加登録は認めない。
- 8 競技方法 (1) 団体戦は2複3単による学校対抗トーナメント方式。試合順序は複1→複2→単1単2→単3の5マッチ制とし、単1に出場した選手は他のマッチに出場できない。  
(2) 団体戦は初回戦から3マッチ先取で行う。  
(3) 団体戦はゲームの進行状況により、各マッチを同時に行うこともある。  
(4) 試合はトーナメント形式とする。3位決定戦は行わないが、代表決定戦は行う。
- 9 使用用具 ヨネックス ニューオフィシャル 4番とする。
- 10 参加申し込み (1) 締め切り日 令和5年5月9日(火)13:00必着のこと。  
(2) 参加料は選手1名につき300円、専門部運営負担金として団体戦男女それぞれ1チームにつき1,000円とし、5月22日(月)の受付時に納入すること。  
(3) 使用球は団体戦については男女別1チーム1ダース、個人戦は単2個、複3個とし、5月22日(月)の受付時に納入すること。  
(4) 申込先 メールにて受付を行います。下記に送付下さい。  
メールアドレス [akimayou@hokkaido-c.ed.jp](mailto:akimayou@hokkaido-c.ed.jp) 小樽未来創造高校内 志釜 明彦
- ※職印のある申込書・参加料納付書・参加料金・シャトルにつきましては、5月15日(月)組合せ抽選会時、または5月22日(月)の受付時に納入すること。  
専門部負担金の領収書は、当番校で用意しています。
- 11 表彰 (1) 表彰 団体戦、個人戦ともに3位まで表彰する。(表彰は、各種目が終了した段階でステージ上で実施する。)  
(2) 全道大会出場資格  
①団体戦は3チーム出場できる。  
②個人戦は単3、複3まで出場できる。
- 12 組合せ会議 令和5年5月15日(月)13:30～ 視聴覚教室 組合せ抽選会(小樽未来創造高校)  
・当番校、支部専門委員、各高校顧問立ち会の上行う。  
・申し合わせ事項、春季大会の成績を基にして、全道大会枠プラス1までシードする。  
個人戦の春季大会ベスト8の選手はシードの対象とする。  
(シード資料は運営委員会で作成をする)
- 13 その他 (1) **競技中の服装は、公財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。**また、上位の背面には必ず高等学校名を明記すること。学校名のゼッケン(縦20cm×横30cm)を付けるか、学校名がプリントされたウェアを着用すること。  
(既存のゼッケンが従来の大きさ(縦15cm×横30cm)のものであれば利用可)  
上衣、下衣とも表記内容については大会運営規程第24条と高体連規程に従うこと。  
(2) 大会運営の補助役員として、各校より日ごとに線審4名以内の氏名を申込書に記入して提出すること。  
(3) 敗者(校)線審とします。ご協力お願いします。(初回戦のみ本部で連絡します。)  
(4) 監督会議時に協会への協会登録金を持参すること。  
(5) 前年度団体優勝校(男子:寿都高校、女子:小樽未来創造高校)  
個人戦ダブルス優勝校(男子:小樽潮陵高校、女子:寿都高校)  
個人戦シングルス優勝校(男子:寿都高校、女子:小樽未来創造高校)は優勝杯を忘れずに持参してください。  
(6) 開場時間 5月22日(月)～24日(水)8:45

(7) 日本バドミントン協会からのガイドラインの改訂版(3/10付)も発出され、3/18(土)の北海道バドミントン協会の常任理事会において今後の運営の方向性が決まりましたので、それに合わせて今後の小樽支部の大会も実施していきたいと思えます。

- ①開会式は簡略化して行う。閉会式は行わない。表彰は随時行う。
- ②入場制限せず、有観客とする。
- ③37.5℃以上の発熱者は入場できない。(玄関での検温は行う。)
- ④健康状態観察シートの提出は必要ありません。
- ⑤マスクの着用は個人の判断とします。
- ⑥コーチングシートは2席用意します。※チェンジエンス毎に持ち歩く必要はありません。
- ⑦自分の座席以外での観戦はしない。
- ⑧応援は拍手のみとする。
- ⑨手指消毒液は、会場内要所に設置する。
- ⑩毎試合終了後の審判用具(筆記用具・ボード・カゴ)を消毒する。  
毎試合終了後の審判台・線審席・コーチ席・得点係席を消毒する。
- ⑪コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに保管する。